

「神経・筋疾患患者の症状、検査所見、治療、経過、予後に関する包括的後方視的観察研究」

臨床研究へのご協力をお願い

脳血管疾患や神経変性疾患（パーキンソン病、進行性核上性麻痺、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症など）筋ジストロフィーに代表される神経・筋疾患は運動機能障害、高次脳機能障害、日常生活機能障害、嚥下機能障害、呼吸障害などを引き起こし、罹患者さまの生活の質（quality of life: QOL）に多大な影響を及ぼします。脳神経内科医は、病歴を伺い、内科的診察、神経学的診察、必要な各種検査（血液 尿 髄液 筋電図 神経生理学検査 脳波 高次機能検査）結果や画像所見から診断を行っています。そして症状や日常生活機能障害に対して、薬物やリハビリテーションなどの治療や、適切な栄養法、呼吸補助法などを選択し日々の診療を行っています。

しかしながら、神経疾患の症状、経過、各治療効果、患者様の満足度などで、まだ明らかになっていない点が数多くあります。そこで、脳神経内科では、神経・筋疾患患者さまの症状、検査所見、治療、経過、予後に関する観察研究を行い、臨床の質を検証、向上させたいと考えました。この研究は、当院倫理審査委員会において2019年11月18日に承認されました。私たちの行う研究は現在、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に沿って行う必要があります。その規定では、研究内容の情報を公開することが必要とされているため、当院のホームページ上に掲載いたします。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名	神経・筋疾患患者の症状、検査所見、治療、経過、予後に関する包括的後方視的観察研究
研究機関	国立病院機構東名古屋病院
研究責任者	齋藤由扶子(国立病院機構東名古屋病院第二神経内科医長)
研究の目的	当院の脳神経内科に通院あるいは入院した神経・筋疾患患者さまの臨床記録を用い、基礎情報、各種検査データ、画像、治療、経過等を後方視的に解析し、各疾患の特徴、臨床経過や予後について検証すること
研究の方法	・対象となる方： 脳血管障害、神経変性疾患などの神経・筋疾患と診断され、当院脳神経内科に通院、入院した患者様 ・利用させていただく臨床情報および試料： 年齢、性別、疾患名、身体所見および神経学的所見、画像データ、検査データ、リハビリテーション評価データ、食事・栄養内容、薬剤、経過など通常診療で得られるもの
個人情報の取り扱い	お名前・住所など個人が特定できる情報は削除した上で解析を行います。研究成果は学会や学術雑誌で公表されますが、個人を特定できる情報は利用されません。当該研究に使用されることを望まれない方の記録・資料は研究には用いませので、下記連絡先担当者に直接ご連絡いただければ幸いです。
問い合わせ先	〒465-8620 名古屋市名東区梅森坂 5-101 国立病院機構東名古屋病院脳神経内科 電話 052-801-1151 担当医師 齋藤由扶子